

1	審議会名	第4回 塩田地域協議会
2	日時	平成22年6月23日 午後1時30分から午後4時30分まで
3	会場	上田市塩田公民館小ホール
4	出席者	石黒委員、伊藤委員、大口委員、岡村委員、甲田委員、清水委員、関田委員、竹下委員、玉木委員、中村委員、南雲委員、西沢委員、南委員、峯村委員、宮沢委員、山極委員、若林委員
5	市側出席者	小宮山まちづくり協働課長、神林塩田地域自治センター長、志摩センター長補佐
6	公開・非公開等の別	公開
7	傍聴者	4人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成22年7月5日

協議事項等

1 開 会 (神林自治センター長)

2 会長あいさつ

塩田地域協議会も4回を迎え良い方向に進んでいる。更に地域の発展に結び付けたいものである。本房委員の死去に伴い全員で黙祷をしたい。(30秒間の黙祷)

3 協議事項

(1) 地域内分権の推進について(まちづくり協働課説明)

(質疑応答)

(委員) きょうどの文言として「協働」と「共同」どちらを使うと考えているのか。

(まちづくり協働課) 自治基本条例検討委員会中間報告の9ページにもあるが、関係者相互に連携協力して取り組むということで「協働」を表示するとしている。

(委員) 自治基本条例検討委員会中間報告の9ページでは、組織としての「協働」であるが本当は「共同」だと思う。

(委員) 「協働」には、連携と融合が含まれていると思う。点と線の結びつきは「共同」であるが、面積を持つものを「協働」というと思う。

(まちづくり協働課) 検討委員会では、自立する主体同士が相互に連携することを「協働」と考えているので持ち帰り検討したい。

(委員) 地域協働体は、継続性が担保されるものか。また、しほりなどの考えはどうか。

(まちづくり協働課) 地域協働体は、任意協議会であり内容に透明性があるのか、公正なのかなどの担保が課題である。公共性の高い団体で、個人が尊重されるものと考えられる。

(委員) 個人の意識の高さが必要となってくる。常にねじを巻いていかななくてはならない。

(まちづくり協働課) 長野市は、強制的に地域協働体を作らせて実施しているが今後の経過を見たい。公金の取り扱いについて、透明性を確保することが重要な視点と考えられる。

(委員) 「地域協働体」と自治会のイメージ図において、円内は見本と理解してよいか。

(まちづくり協働課) そのように理解しているが、他には行政などの官公庁も入ってくる。

(委員) 地域予算の箇所と枠について再度の説明をお願いしたい。

(まちづくり協働課) 持ち寄り基金の総額は約12億円、新市基金は約36.54億円で運用益約4,800万円を使用している。新市の基金は、取り崩さず持ち寄り基金で地域要求できるとしている。丸子、真田及び武石地域では、土木や土地改良事業は総額の予算内で調整を可としており、全体で約10億円ある。

(委員) 国政で見ると主権者意識の欠如が伺える。地域内分権を通して、意識改革と高揚するものと思う。地域の課題から地域協働体へ結び付ける方が分かりやすい。地域協働体のイメージは、塩田地区と理解してよいか。また、自治会や自治会連合会が変わると思うが、自治会がなくなるものか。そして新たな自治会組織になるのか。

(まちづくり協働課) 市としては、自治会を変える考えはなく自治会活動を尊重する。地域協働体エリアは、自治会ではなく国の一例である。自然村が行政村に変わってきた経過があり、地域の特性や歴史を踏まえて考えることであり、これから検討していくものと考えている。

(委員) 制度として、平成 24 年に前倒しは可能か。

(まちづくり協働課) 担当課としては、モデル地区の選定なども想定しているが、地域協働体は振興会などに類似していると考えられる。

(委員) 地域自治センターに一定の予算があるときは、協議会として要求できるものか。

(まちづくり協働課) 旧上田市の基金は、約 2 億円で 6 地域に分配することは難しくやり方は 2 通りあると思う。

(議長) 丸子、真田及び武石の持ち寄り基金はどの位あるのか。

(まちづくり協働課) 真田が 2 億円弱、丸子が 4 億円余、武石が 3.5 億円程である。

(議長) 塩田の人口が約 21,000、塩田で地域予算要求できないものか。

(まちづくり協働課) 予算要求や執行については、ルールについて検討する必要がある。基金運用等についても再検討を要する。地域要望の予算化について検討する必要がある。

(議長) 地域予算の充実が必要であり、予算配分について意見書を出したい。

(委員) やりたいことについて予算を付けるということか。

(まちづくり協働課) 予算があるからやるというのではなく、必要なものに予算付けをするのが原則と考える。

(委員) 地域内分権は、「金をやるから自由に考えてやれ」というように考えてしまう。地域内分権は、予算執行までまかせてもらいたいと思っている。

(委員) 丸子や真田地域に億単位の金があり地域予算は、使途や規模、職員の賃金にまでつながっているものか。

(まちづくり協働課) 持ち寄り基金は、特別の目的のために積み立てたものであり、持ち寄り基金は、合併後使用方法について検討してきたが、プールして全市的には使えない。地域の振興事業のみに使用するとしている。

(委員) 他の町村は、どうしてたくさんの基金を持ってきたものか。

(まちづくり協働課) 町村はそれなりに基金を積み立ててきた経過がある。

(委員) 地域協働体には部会をつくることになるのか。

(まちづくり協働課) 地域協働体は、地区連や自治会へ強制するものではなく、地域協働体の仕組みについては、現在何も煮詰めていない状況であり、これから検討していく課題として捉えている。

(2) 自治基本条例の制定に向けた条例検討委員会「中間報告」の概要について(まちづくり協働課説明)

(委員) 検討委員の選定はどのようなものか。

(まちづくり協働課) 検討項目はゼロからのスタートであり、団体推選として自治会連合会、防犯関係団体や地域協議会正副会長会長、公募、他には地域の団体で活動している者を委員とした。年齢構成は、20 代から 70 代まで平均年齢は 49 歳となっている。最初の 6 ヶ月間は、勉強(研修)期間にあて 1 年半で中間報告まで来た。最終報告は、8 月を予定しており 12 月議会に条例案を提案したい。

(委員) 報告書 39 ページの名簿備考欄へ団体名を入れてもらいたい。団体推選や公募の割合を知りたいので。塩田地域は 4 人委員がいるので表示してもらいたい。

(3) 専門委員会報告について(各委員会報告)

(ため池活用委員会)

(委員長) ため池の活用について 7 月 12 日に現地調査を予定している。

現地研修視察では舌喰池、塩野池、手洗池などを候補としている。

(地域振興委員会)

(委員長) 地域振興の内観光について、現地研修視察をとおして見直したい。

- (議長) 現地研修視察にあたっては、両委員会でコースについて検討してもらいたい。
- (委員) 地域振興 = 観光ではない。産業的には農林業もある。ため池は、昔は 200 もあったが先ほど上がった池は整備されている。
- (委員長) 地域振興では、観光のことが途中で止まってしまっているのを再開したい。点から線、面へと結びつける活動につなげ、今後は他の課題についても議論したい。
- (委員) 観光面への区切りは今年度か。
- (委員長) 長く引っ張るつもりはない。
- (委員) 最終的な目標は何か。
- (委員長) 観光(地域振興)マップをつくることである。
- (議長) 成果を行政への意見書としたい。
- (委員) 視察の目的や経過について説明してもらいたい。
- (議長) 次回に前期の観光についての経過説明をしたい。
- (委員長) 専門委員会の協議の中で、観光を地域振興に入れた経過がある。
- (委員) マップは塩田中学校のものを含めて欲しい。

(地域交通委員会)

- (委員長) アンケート調査結果をグラフ化する作業をしている。成果品は市、上田電鉄、関係団体へ提示する予定である。
- (委員) 別所線電車存続支援に協力するとした 12%はどこの地区か。
- (委員) アンケート回答者の区分がわかりづらい。
- (委員長) 別所線電車存続支援協力者 12%は、全体数値であり地区は分からない。

(広報委員会)

- (委員長) 委員会としては活動にいたっていない。

(4) 協議会委員慶弔規定について(事務局説明)

- (事務局) 地域協議会として公共的団体等の会議等祝儀 3,000 円、本人 7 日以上入院見舞 5,000 円、本人死亡 10,000 円、配偶者死亡 5,000 円を支出することを確認した。

(5) その他

ア 公民館大ホールの音響について

- (委員) 公民館大ホールの音の反響について対策を講じて欲しい。
- (事務局) 専門家(建築課)と対応について検討しているので、承知していただきたい。

イ ノルディックウォーキングの用具の備え付けについて

- (委員) 塩田公民館へノルディックウォーキングの用具を備えて欲しい。
- (委員) 原則的には、ノルディックウォーキングをする人が準備するものであり、協議会として要望するものとは違うと思う。
- (事務局) 健康推進事業として体験され、住民に普及したいと願うことなので、所属団体に十分協議していただき関係する部署に要望して欲しい。

ウ 別所線植栽ボランティア状況調査について(事務局依頼)

- (事務局) 別所線電車沿線で、植栽等ボランティア団体の実態調査について協力依頼
- (委員) 舞田駅の草刈を、西塩田地区振興会が年 2 回行なっている。

4 その他
特になし

5 閉会

- * 会議概要は原則として公開します。会議終了後、1週間以内に行政改革推進室へ提出してください。
- * 非公開及び一部非公開としたものについては、その理由を記載してください。